

泌尿器科 研修プログラム【選択】

1. 診療科の特色

研修に十分な症例数があり、しかも疾患の偏りが少なく、尿路生殖器すべての悪性腫瘍、尿路結石、尿路感染症、など広範囲におよぶ症例が広く経験できる

2. 研修受け入れ可能期間

4 週以上（相談に応じる）

3. 研修スケジュール

(ア)期間内スケジュール研修期間ごとの目標を以下の表のように設定する A: 主に主治医（術者）として単独で実施

B: 助手として実施、または指導医の介助のもとで主治医（術者）として実施

C: 見学程度～助手として実施

実習項目	研修期間		
	1～2 ヶ月	3～4 ヶ月	6 ヶ月以上
入院患者の術前・術後管理			
尿路・生殖器悪性腫瘍	B	B、A	A
前立腺肥大症	B	B、A	A
尿路結石症	B	A	A
尿路感染症	B	A	A
外来における診断・治療計画			
血尿（尿路悪性腫瘍）	C、B	B、A	A
排尿障害（前立腺肥大症）	C、B	B、A	A
尿路結石症	B	A	A
尿路感染症	B	A	A
泌尿器科救急疾患			
尿路結石症、尿路感染症	B	B、A	A
尿閉、腎後性腎不全	C、B	B、A	A

急性陰嚢症	C	B	B、A
経尿道的操作（男性患者）			
膀胱鏡、金属カテーテルの使用	C、B	B、A	A
尿道カテーテル留置	B、A	A	A
尿道カテーテル留置（困難例）	C、B	B、A	A

4. その他

(ア)研修後の進路

当院後期研修医として専門医習得を目指す。

(イ)研修医に望むこと

泌尿器科疾患に興味をもち、手術手技の習得に意欲があること